

# ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年1月26日時点)

▶ **ウクライナ軍が南部及び東部の露軍への反撃を継続する一方、露軍は東部ドネツク州における占領地拡大に向けた作戦や各地の民生インフラに対する攻撃を継続している模様**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: **死者5937人**(ショイグ国防相発言22年9月21日)

: **死者約12万2170人**、戦車3152両、装甲車両6284両(「ウ」国防省1月24日)

: **死傷者約18万人**(クリストファーセン・ノルウェー軍参謀総長1月22日)

「ウ」軍: **死者最大約1万3千人**(ポドリャク「ウ」大統領府長官顧問22年12月1日)

: **死傷者推定10万人以上**(クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)

「ウ」市民: **死者6952人以上、負傷者1万1144人以上**(OHCHR1月10日)

※米国は、22年8月8日の評価以後、露軍の損害に言及せず(「ウ」軍の損害への言及はこれまでなし)

ゲラシモフ露参謀総長は、露「論拠と事実」紙のインタビューにおいて、「**特別軍事作戦**」について、「**現代ロシアが経験したことのない水準と烈度**」と評価したほか、「**フィンランド及びスウェーデンのNATO加盟は露にとり脅威であると主張するとともに**」、「ウ」が露に対するハイブリッド戦争遂行の道具として利用されているとの主張を展開(1月24日)

ゼレンスキー大統領は、政府内における大規模な人事上の決定を行った旨、ビデオ声明において発言(1月24日)  
※「ウ」政府内における複数の汚職事案等の不祥事に関連し、複数の高官を解任。  
「ウ」国防省においても食料品調達に関係する汚職が明らかになり、**次官を更迭**

露国防省は、**モスクワ郊外**において防空ミサイル旅団がS-300地对空ミサイルを用い、**行政、産業及び軍事関連施設の防空訓練を実施**した旨発表(1月21日)

「ウ」軍参謀本部は、露軍の損耗状況の一例として、**ルハンスク州スタロポリスク市立病院の外科に300人の負傷兵が入院**している模様と発表(1月21日)

「ウ」軍参謀本部は、**露軍がドネツク州バフムート付近において砲撃を継続**している旨指摘(1月22日)  
※一方、1月22日夕以降の「ウ」軍参謀本部戦況発表は、露軍の攻撃を受けた地点としてドネツク州ソレダルに言及しておらず、同地から「ウ」軍が撤退した可能性

米CNNは、米欧諸国が「ウ」に対し、**膠着状態にある東部ドネツク州バフムートから、南部における攻勢作戦に戦闘の重点を移す**よう説得していると報道(1月24日)

「ウ」軍参謀本部は、**露軍が1月18日から21日**にかけ、**ヘルソン州南部のヴィノフラドヴェ及びブリリウカ(ヘルソン市からクリミアへ通じる幹線道路の東西に位置)に歩兵を追加配置**(ただし車両はなし)した旨発表(1月23日)



エストニア、英、ポーランド、ラトビア、リトアニア、デンマーク、チェコ、オランダ及びスロバキアは、**軍事支援を中心とする対「ウ」支援に関する「タリン誓約」**を発表(1月19日)

ブワシュチャク・ポーランド国防相は、**本年3月末までに同国が「ウ」に対し、1個旅団相当の装備(T-72戦車及び歩兵戦闘車両)と訓練を提供**できる旨発表(1月20日)

サンドウ・**モルドバ**大統領は、友好国に対し**防空システムの供与を求め**る旨発言(1月19日)  
※「ウ」西部を攻撃する露のミサイルが「モ」領空を侵犯しているほか、これに対処する「ウ」防空ミサイルが「モ」領土に落下する事案が過去に発生

- 主要都市
- ✈️ 主要軍施設
- 💣 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- 🟡 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- 🟢 ウクライナ軍が奪還した地域